

## 向山喜章

1968 大阪府生まれ。現在、東京を拠点に制作活動をする。

2018-19 MGM リゾーツ・インターナショナルからラスベガスへ招聘  
ベラッジオスタジオにて、滞在制作

## 個展

- 2024 「Inishie・7」 Yutaka Kikutake Gallery、東京
- 2023 「Marsmoonveeda・8」 N&A Art SITE、東京  
「Candle Flame・9」 Yutaka Kikutake Gallery、東京
- 2021 「1・8・88」 Yutaka Kikutake Gallery、東京
- 2020 「22・22」 Yutaka Kikutake Gallery、東京  
「3」 空蓮房、東京
- 2019 「11・33」 Yutaka Kikutake Gallery、東京
- 2018 「Maruyulate / Marugalate」 Yutaka Kikutake Gallery、東京
- 2017 「Veda / Vendarta」 Yutaka Kikutake Gallery、東京
- 2016 「Luminous / Lunar」 Yutaka Kikutake Gallery、東京
- 2011 「Moonveda」 タグチファインアート、東京
- 2010 「Zodionvega + Luminouspega」 KM STUDIO、長野
- 2009 「Works 2001 – 2007」 KM STUDIO、長野  
「B. L. H. (documentary on the performance in Germany)」 KM STUDIO、長野
- 2000 「Mellow Touch Mix 2000」 STUDIO EBISU、東京
- 1998 「Cool Touch – クリテリオム 3 5」 水戸芸術館、茨城  
「A-W/S-S collection」 Contrepoint、茨城  
「Maruyulates」 DRIES VAN NOTEN、東京  
「Winter collection」 Gallery 360°、東京
- 1997 「S-S collection」 Gallery 360°、東京  
「Mellow Touch」 秋山画廊、東京
- 1995 「Look for a Nut!」 Gallery360°、東京  
「A-W collection」 Gallery360°、東京
- 1994 「Maruyulate」 コバヤシ画廊、東京  
「ワンスエターナルスリープ」 ギャラリー・ラ・フェニーチェ、大阪
- 1992 「スリープ」 秋山画廊、東京

「テックウ」コバヤシ画廊、東京

1991 「ユヌフ」青山ギャラリー、東京

### グループ展

2024 「AWT FOCUS - 大地と風と火と：アジアから想像する未来」大倉集古館、東京

2023 「Sky」Yutaka Kikutake Gallery、東京

2022 「HaSACC 2022 佐島から三浦半島をつなぐ芸術祭」浄楽寺、神奈川

「KOTARO NUKAGA Ensemble #1」KOTARO NUKAGA、東京

2021 「愛すべきアートのはなし」銀座蔦屋書店 GINZA ATRIUM、東京

2020 「素材—その形と心 The Material -Its Form and Spirit」gallery de kasuga、東京

「海を渡った画家たち」軽井沢現代美術館、長野

2019 「時を超える：美の基準」元離宮二条城 二の丸御殿台所、御清所、京都

2018 「忘れられない、」ミュージゼ浜口陽三・ヤマサコレクション、東京

2017 「宇宙と芸術」アートサイエンス美術館、シンガポール

2016 「宇宙と芸術」森美術館、東京

2014 「Towards the Future」カドーロ、マインツ、ドイツ

2013 「横浜美術館コレクション展 2013年度 第1期 「賛美小舎」—上田コレクション」、  
神奈川

2012 「1×1」KM STUDIO、長野

2009 「When Ideas become Form」ギャラリー・ドロテア・ファン・デア・ケレン、  
マインツ/ヴェネツィア

2008 「Front Line」ゾーン・コンテンポラリーアート、ニューヨーク、アメリカ

2007 「The Missing Paece」ルービン美術館、ニューヨーク、アメリカ

ヤーバブエナセンター美術館、サンフランシスコ、アメリカ

2006 「The Missing Peace」UCLA ホーラー美術館、ロサンゼルス、アメリカ

ロヨラ大学美術館、シカゴ、アメリカ

2005 「秘すれば花—東アジアの現代美術」森美術館、東京

「Colour Tones」マインツ大学、マインツ、ドイツ

2004 「Apriori—Show」ギャラリー・ドロテア・ファン・デア・ケレン、

マインツ/ヴェネツィア

2003 「B.L.H.Origin of Maruyulate - FIH Festival 2003」

インゼル・ホンブロイヒ美術館、ノイス、ドイツ

- 2001 「拡張する絵画—色彩による試み」佐倉市立美術館、千葉
- 2000 「Multiple unique works」 y+contact moving car、東京
- 1998 「Permeability」 ガレリアラセン、東京  
「Valentine display」 Vivre aoyama shop、東京
- 1997 「Kunst = Kapital」 ギャラリー360°、東京  
「The Locked Room」 ギャラリー美遊、東京  
「Post cards & Art T-shirts」 ギャラリー360°、東京  
「A piece of my art 4」 ギャラリー美遊、東京
- 1996 「Sweethearts」 ギャラリー360°、東京  
「One Day One Show」 ギャラリー360°、東京
- 1995 「Gift show」 Spiral、東京

## 出版物

『KISHO MUKAIYAMA 1993-2004』 Kisho Mwkaiyama Studio 2004年

## 参考文献

- 片岡真実「AWT FOCUS 大地と風と火と：アジアから想像する未来」冊子 2024年 p.32
- 南條史生「向山喜章の個展に寄せて」N&A Art SITE 2023年
- 南條史生「素材とアート」『素材—その形と心』図録 gallery de kasuga 2020年  
pp.6-7, pp.29-30, p.38
- 谷口昌良（空蓮房）「光明に照らされて/仏教≡慈悲の現象学」2020年
- Dawn-Michelle Baude「Kisho Mwkaiyama's permanent Mandalay Bay installation shines in an unexpected place」  
『Las Vegas Weekly』2019年3月7日
- 南條史生『時を超える：美の基準』2019年
- 稲石千奈美『PEN』CCCメディアハウス 2019年2月号(no.468) pp.110-111
- Rebecca Orlov『VEGAS MAGAZINE』2018年10月号 p.44
- 南條史生『Kisho Mwkaiyama』図録 Yutaka Kikutake Gallery 2018年
- 小金沢智『忘れられない、展』図録 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 2018年  
p.4, pp.10-13, p.22
- 『The Universe and Art, An Artistic Voyage Through Space』図録 ArtScience Museum 2017年 pp.11-12,  
pp.67-68
- 南條史生『宇宙と芸術展』図録 森美術館 2016年 p.58, pp.257-258

Patricia J. Graham 『JAPANESE DESIGN Art, Aesthetics & Culture』 Tuttle Publishing 2014年 p.62

『The Missing Peace, Artists & the Dalai Lama』 図録 The Committee of 100 for Tibet & The Dalai Lama Foundation 2006年 p.71

南條史生 『秘すれば花：東アジアの現代美術』 図録 森美術館 2005年 pp.96-99

南條史生 「光の物質化について」 『KISHO MUKAIYAMA 1993-2004』 Kisho Mwkaiyama Studio 2004年 pp.4-5

『チバ・アート・ナウ '00 拡張する絵画—色彩による試み』 図録 佐倉市美術館 2001年 pp.37-48, pp.76-77

鷹見明彦 「現代美術色彩博物誌 蜜蝋のいるカラーチャート」 『美術手帖』 美術出版社 2000年6月号(vol.52, no.788) pp.124-132

鷹見明彦 「20世紀アートマテリアル&メディウム百科」 『美術手帖』 美術出版社 1999年4月号 p.49

渡部誠一 「無意識の充填あるいは封印」 『Cool Touch - クリテリオム35』 水戸芸術館現代美術ギャラリー 1998年

小泉晋哉 「この人に注目」 『日経アート』 日経BP社 1998年10月号 p.178

鷹見明彦 「独習スルたましいからの流出 (エン・ソーフ)」 『向山喜章展 秋山画廊』 1997年

鷹見明彦 「ARCHE・TYPE GIFT -ミュトスの粒素が奏でるカタチ-」 『向山喜章展 ギャラリー360°』 1995年

古屋俊彦 「Reviews: 向山喜章 コバヤシ画廊」 『美術手帖』 美術出版社 1994年11月号(vol.46, no.697) pp.219-220

高見堅志郎 「生成の鼓動」 『向山喜章展 ギャラリー・ラ・フェニーチェ』 1994年

## 主な所蔵先

森美術館、東京

横浜美術館、神奈川

軽井沢現代美術館、長野

転法輪寺、奈良

長應院、東京

## 企業

東京倶楽部、東京

森ビル株式会社 アークヒルズ仙石山レジデンス、東京

株式会社大林組 品川本社、東京

東京建物株式会社 ONE DOJIMA PROJECT Brillia Tower 堂島、大阪

加和太建設本社、静岡

CSL ベーリング株式会社、東京

日本サムソン株式会社、東京

株式会社ポンテヴェッキオホッタ、東京

株式会社カザッポアンドアソシエイツ、東京

株式会社キルトプランニングオフィス、東京

有限会社トルーパーワークス、東京

サザビーズシカゴ コンテンポラリー、シカゴ

MGM リゾーツ インターナショナル、ラスベガス